

簡単な検査の説明

血液検査	肝臓機能、膵臓機能、腎臓機能などの異常や貧血、高脂血症、糖尿病、痛風、B型肝炎、C型肝炎、梅毒などの疾患がわかります。消化器癌、前立腺癌、卵巣癌、子宮癌の腫瘍マーカーも測定いたします。
尿検査	血尿、タンパク尿の異常や腎臓病、糖尿病の診断に役立ちます。
便検査	便ヒトヘモ法を用い、大腸癌スクリーニングに有用です。
眼圧・眼底	眼底の動脈を直接観察することで、糖尿病や動脈硬化などの全身疾患や緑内障の診断に有用です。
胃透視	バリウムを飲み、食道・胃・十二指腸の上部消化管スクリーニングを行います。
胃内視鏡	ポリープ、癌を含めた上部消化管スクリーニングを行います。
心臓超音波	前胸部からエコーをあてて、心肥大、狭心症、心筋梗塞、心臓弁膜症の診断を致します。
腹部超音波検査	お腹からエコーをあてて、腹部臓器（肝・胆・膵・脾・腎）のスクリーニングを尿をためて行うことで、泌尿器科または婦人科臓器のチェックも行います。
ホルター心電図	4時間以上、心電図の電極を継続的に装着し、種々の不整脈、狭心症の診断を行います
肺機能	検査装置に息を吹き込むことで肺活量や肺の動きを調べます。肺気腫、気管支喘息の診断に有用です。
骨塩定量	簡単なレントゲン検査で骨粗鬆症の診断を行うことができます。
重心動揺検査	台の上に乗るだけで、脳や内耳の動脈硬化、身体の平衡機能がわかります。
サーモグラフィ	台の上に手を置くだけで、皮膚温を表すカラー写真が得られます。動脈硬化、末梢循環障害、末梢神経障害の程度が目で見えてわかります。
喀痰細胞診	痰を出してもらい、肺癌細胞を調べます。
頭部CT、MRI	脳動脈硬化、微小脳梗塞、脳動脈瘤、脳血管障害などの診断に有用です。MRIでは極めて鮮明な画像が得られます。
頭部MRA	脳血管を直接撮影する方法で、脳血管の最も精密な画像診断です。
胸部CT	心臓、肺など胸部の精密画像診断で肺癌などの精査に有用です。
腹部CT、MRI	腹部臓器（肝・胆・膵・脾・腎など）の癌などの精査に有用です。
骨盤腔CT、MRI	前立腺（男性）、子宮、卵巣（女性）、膀胱など骨盤腔内の精査に有用です。
ABI form (脈派伝播速度)	両腕、両足同時に血圧を測定する方法で、動脈の詰まりや動脈壁の硬さを測定することで動脈硬化が判定できる簡単で新しい検査です。